

C E F 2023 分科会「アセスメント」企画案

■ テーマ

「実践を通して整理する アセスメントの在り方について～アセスメントの実践と活用のサイクル～」

■ 分科会概要

障害者雇用におけるキーワードとしても多用されるアセスメントですが、改めてその目的・視点・方法について、支援機関・企業からの実践発表やその後のディスカッションを通して整理したいと思います。

また、実施する立場や対象者による相違点、一致する本質的なことなどについても一緒に考えたいと思います。

■ 分科会の目的

以下の4項目について実践報告とディスカッションを通じて課題の確認や整理を試みる

- ①各立場でのアセスメントの実践（目的・視点・方法）とポイントについて確認する。【手法について】
- ②各立場でのアセスメントの活用（支援／業務とのサイクルについて）とポイントについて確認する【使われ方】
- ③立場によるアセスメントの違いについて整理確認する
- ④一致する点（本質的な点）

■ 内容と当日のながれ

	内 容 (合計 105 分)	担当者
9:00～	<u>分科会の主旨や流れの説明</u> (5 分)	福岡ジョブサポート 小園 真起子
9:05～	<u>実践報告①</u> (25 分) ①自己紹介・事業所紹介 ②アセスメントの実践<目的・視点・方法(プロセス)> ③アセスメントの活用<支援とのサイクル> ④ポイントや課題	<支援機関> 大阪市職業リハビリ テーションセンター 山田 加奈子 氏
9:30～	<u>実践報告②</u> (25 分) ①自己紹介・事業所紹介 ②雇用の実際 ③アセスメントの実践と活用(目的・視点・方法(プロセス)・業務とのサイ クル) ④ポイントや課題	<企業> 株式会社 LIXIL Advanced Showroom 八重樫 祐子 氏
9:55～	<u>ディスカッション</u> (35 分) 分科会の目的に沿ってディスカッション 終了	登壇者全員 (進行:小園)
10:30		